

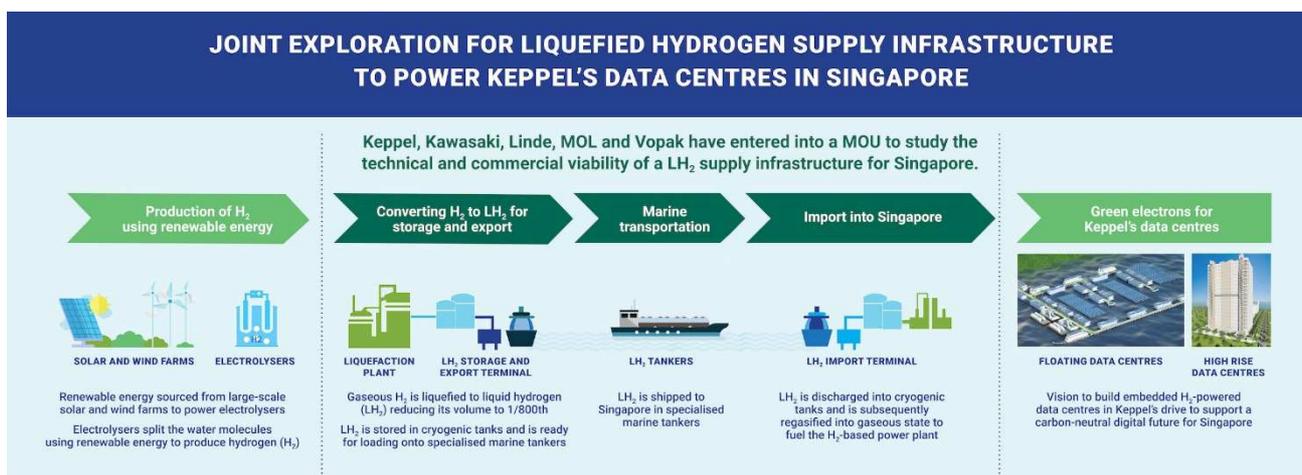
## シンガポール Keppel グループデータセンター向け液化水素供給インフラ開発 の共同検討に関する覚書を締結

川崎重工業株式会社、株式会社商船三井、Keppel Data Centres 社、Linde Gas Singapore 社、Vopak LNG Holding 社の5社は、Keppel グループのデータセンターに供給する電力の燃料として水素をシンガポールに導入するために、液化水素供給インフラの検討およびコンセプト開発を共同で行うことを目的とした覚書を締結しました。

今回の覚書では、Keppel Data Centres 社が共同検討のリーダーとなり、輸出国での液化水素の製造プラント、輸出ターミナル、海上輸送、さらに輸入ターミナル、貯蔵ユニット・再ガス化施設など、シンガポールへの液化水素輸送に必要なインフラについて参画各社の知見をもとに、実現に向けた技術、および商務面の評価・検討について今後2021年末を目途に共同で行います。

水素は燃焼時に二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーとして世界的に注目が集まっています。また、マイナス253度に冷却し液化することによって体積が気体の800分の1となり、効率的に貯蔵、輸送することが可能です。そのため用地に制約がある市場での有力なクリーンエネルギーの選択肢として注目されています。

5社は、液化水素供給インフラ開発に向けた取り組みを通じて、脱炭素・水素社会の実現に貢献します。



Hydrogen, which does not emit carbon dioxide during combustion, is gaining traction as a clean energy alternative for land-scarce markets. In liquid form, hydrogen occupies 800 times less volume than in gaseous state, allowing for more compact and efficient storage and transportation.

### 液化水素供給インフラの構成イメージ

【コンソーシアムメンバー各社概要】

会社名	本社所在地	事業内容
川崎重工業株式会社	東京都港区、兵庫県神戸市	航空宇宙システム、車両、エネルギーソリューション & マリン、精密機械・ロボット、モーターサイクル & エンジンなど多様な事業を展開する総合重工業。
株式会社商船三井	東京都港区	ドライバルク輸送、エネルギー輸送、製品輸送等の多彩な分野でサービスを提供する総合輸送企業。
Keppel Data Centres 社	シンガポール	データセンター施設の所有、開発、管理業。他の Keppel グループ企業と共に世界 25 カ所以上のデータセンターの保有運営に関与。
Linde Gas Singapore 社	イギリス、ギルフォード	世界 100 か国以上での産業用ガス生産事業、エンジニアリング事業。
Vopak LNG Holdings 社	オランダ、ロッテルダム	世界 70 カ所以上でのタンクターミナルの保有、運営。貨物保管業。

以上